東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Vol.44　第2189回例会　2011.10.27

今年度会長テーマ　和の心　自然に学びて未来を創ろう

■司会：
野村(裕)例会運営委員

■点鐘：小町会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
田中会員

■お客様紹介：
當麻パスト会長

◆ゲスト：例会見学者　小笠原　信子様

■会長報告　小町会長

東日本大震災の復興も長い道のりになると思いますが、先日、二日間に宮城県の石巻市から北へ南三陸、気仙沼まで海岸沿いのまちを見てまいりました。主道路は何とか復旧していますが鉄道は壊滅状況です。石巻海岸沿いの町の光景は鉄骨の建物は骨組みので木造はコンクリート基礎が残るだけで海水で池となしてる所あり、カニ、魚が見られました。市立病院のロビーを覗くと当時のままで書類、テーブル、椅子等が散乱し病院の機能は当然まひのままで唖然としました。
南三陸町市街地では多くの死者を出した災害本部の鉄骨三階建てが骨組みがむきだしでさみしげに夕陽を浴びてました。一網打尽にもっていかれた津波の恐ろしさは言葉には表せない衝撃です。山の上に移動した仮設役場を訪問し対策室担当者の話も聞け、当地のライオンズクラブ会長さんとも当時の状況と復興の話もお聞きしました。宿泊した7階建ホテルも海岸沿いでしたがホテルは被害は少なく、1200名収容の中8月まで500名の被災者を受け入れその後、仮設住宅に移ったようです。
7か月前の出来事は嘘のように志津川湾は穏やかでした。気仙沼までのすべての街は人影はなく海岸にがれきの山でさみしい限りです。建築に携わる者として、今回の光景は地震、津波の自然災害に加え、原発の人為的災害が復興に追い打ちをかけている。地球もやがて人口が70億人を超えますが限られた中でどう生きていくのか答えは出ません。生きるものすべてが自然の恵みに感謝しつつできるだけ未来の人達へ良い環境を残してあげたいものです。
会務報告です。ＦＲＣは都との打合せ、他クラブへの案内、説明を田中委員長を中心に実施しています。
米山奨学会より野崎一重会員へ米山功労者マルチ6回の寄付明細と感謝状が届いています。東村山消防署より火災予防業務協力者表彰式の開催のご案内を頂きました。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／赤木　盛一
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

■幹事報告　　野村(高)幹事

■国際ロータリー日本事務局：
11月のロータリーレート　1ドル＝78円

■バギオ基金：
第33回バギオ訪問交流の旅のお誘いについて
2012年2月9日(木)～12日(日)
旅行代金　40名以上　￥127,000/人
第1回〆切　11月30日

■米山記念奨学会：
特別寄付明細書と感謝状の受理
野崎一重会員　米山功労者マルチ6回目

■東村山消防署：
火災予防業務協力者表彰式の開催について
2011年11月9日(水)　13:00～
於　富士見文化センター(富士見公民館)

■事務所移転：
東京豊島東ロータリークラブ(11/18より)
新）〒171-0021
豊島区西池袋2-29-14 カーサ宮城101号

■ガバナー事務所(ロータリー財団)：
2012-13年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生並びに新地区補助金奨学生候補者の募集開始について
添付資料と流れについて
2011年11月1日受付開始　2012年2月24日〆切

■国際奉仕委員会：
国際奉仕委員長会議開催について
2011年12月14日(水)　14:30～17:30
於　ロイヤルパークホテル

■唱和

事業の経営に最善の努力をする事は職業奉仕だ。

■出席報告　　山本例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
32	20	0	10	66.67

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：93.33%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都西ＲＣ
樺澤会員:東京足立ＲＣ
北久保会員：青森ＲＣ
熊木会員：青森ＲＣ
荻野会員：東京東大和ＲＣ
山宮会員：立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　赤木クラブ管理委員長

■令夫人誕生祝月：
目時会員

◆小町会長、野村幹事：
戸澤さん、本日の卓話よろしくお願いします。小笠原さん2度目の訪問ありがとう。じっくり観察して下さい。

◆目時会員：戸澤さん、本日の卓話よろしくお願いします。

◆野崎会員：10/23ロータリーから出向して理事を務めている薬物濫用防止協議会の行事で久米川駅南口でキャンペーンカーの誘導とビラ・ティッシュの配布をしました。

◆山本会員：戸澤さん、卓話楽しみにしています。

◆神﨑会員：写真ありがとう。また、最近休みがちですが、もうしばらくです。

◆野村(裕)会員：
遅れましたが、ＩＭの写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計：　14,000円
累　　計　：　410,700円

■表彰

■地区米山奨学委員会
より米山功労賞：
野崎会員

■委員長報告

■山本オンツーバンコク
地区委員

たびたび申し訳ございません。オンツーバンコクの報告ですが、皆さんご存知のように、タイは非常に冠水致しまして、微妙な状況になっておりますけれど、とりあえず改めてどうするかという結論が出ない限り、中止ということにはならないと思います。11月の4日にもう一度委員会が開かれますので、その辺を含めまして、よく確認を取ってきたいと思います。でも、お陰様で、いま出席がうちが17名、東大和さんが5名、武蔵村山さんが7名ということで、35名くらいの大所帯となりそうなので、向こうの整備がきちんとできて全員行けるような形になれば、非常に楽しい国際大会になると思いますので、ぜひご期待頂きたいと思います。以上です。

■當麻創立45周年
記念行事副委員長

改めまして、こんにちは。
今日は実行委員長の野澤さんが欠席のため、副実行委員長の私が説明させて頂きます。
今まで、正副だけで大体内容を固めましょうということで、まず10月最後の15日に野村さんのウィングホテルのロビーで実行委員会の流れについて、話をしました。
そしてその中で、案内状が大体固まりましたので、明日印刷に回したいと思います。
そして今、創立45周年記念行事の実行委員会の組織表をお手元に配りましたが、少し変更があると思いますが、急いでいましたのでこのように作りました。
そして早速、11月8日に皆様に出欠席の表をファックスで出しますので、顧問を含めて委員長以上が、11月8日焚火で実行委員会の会議をしようと思っていますので、よろしくお願いします。
45周年、小町年度の一つのイベントでございます。何とかちょっと地味ですけれども一つ皆さん協力をもって宜しくお願いしたいと思います。以上です。

■卓話

■卓話者紹介：
目時プログラム委員長

■卓話者：戸澤会員

日本の農業について

皆さん、こんにちは。最初に１つ宜しいですか、東村山市役所から株主総会の手紙が来た方はいらっしゃいますか。2,000人に1人が当たるみたいなのですが、いらっしゃらないですか。東村山の株主総会にぜひということで、11月23日なのでＦＲＣの空堀川清掃とぶつかっているのですが、どっちに出た方が良いでしょうか。両方でしょうか。検討します。では、卓話をお話させて頂きます。
先月の終わりのガバナー公式訪問の時に、水野さんに、私はミズノスポーツを受けたけれど、保証人がいなくて入れなかったという話をしました。それで、私はミズノスポーツをあきらめたのです。けれども、四谷にある岩田産業という、いま全日空の関連会社になっていますけれど、バナナとかオレンジとかレモンを輸入して国内販売をしている会社に入ったのです。ですから、私は昭和38年からこういう青果物の関係をずっとやっていて、49年目になります。この会社に20年いて、今の会社を作ったのがもう今年で29年ですから、足かけ49年、ずっと青果物に関わってきました。今日はそういうことで、会社の方が農業関係の仕事なものですから、日本の農業について、題がものすごく大きいですが、お話したいと思います。
最初に入った会社が、バナナとかオレンジとかレモンの輸入の会社で、産地に行く事がよくありました。当初、バナナは台湾が主でした。フィリピンとかにも行って、その頃、45～6年前ですけれども、台湾に行ったというのは、子供がまだ靴をはいていない時代でした。裸足でも行ったようなそういう日々でしたけれども、その頃からやはり産地に行くのが我々の仕事のつもりで私は行きました。今もそうで、先月アメリカに行ったのは、産地確認のために行ったのです。少し話が飛びますけれど、アメリカの写真があると思うのですが、それは会長に今日報告したのですが、メーキャップに行こうと思って、行ったのですが、休みでした。例会の会場が真っ暗になっていて、証拠写真を撮ってきました。

産地ということで、今もそういう意味ではわりとあちこちに行けます。仕事だと言っていますから、色々あちこち行きますけれど、意外と観光がてらという事があまりないのです。
ほとんど畑とか山みたいな所ばかり行っているのですが、ここの所、あまり忙しくないのですが、産地に行くことがちょっとありまして、目時さんに言われて当然原稿を作らないといけないなと思って、昨日・一昨日に作ったので、原稿がバラバラあちこちに行くと思いますが、すみませんが聞いて頂ければありがたいと思います。
私は最初、今の西東京市(田無)の近くに石川島播磨重工業があったのですが、あそこの近くに、多摩営業所があったのです。そこに赴任してきて、そこでちょうど私と同じくらいのエクアドルのバナナ農園の副社長の息子が、要するに日本のバナナの視察、研修にきたのですね、半年くらい。その半年間、寮がありましたので、寮に入って仕事、力作業とか色々な仕事をやっていましたけれども、その時にスペイン語を少し覚えました。その後、英語も少し覚えたはずなのですが。彼が半年ほどいたその前に、1年間ほど新宿のスペイン語学校に行って勉強をしたのですけれど、言葉って皆そうなのですよね、学校で1年間勉強をしても覚えられないのです。英語だって皆さんもそうですよね、6年間一生懸命勉強をしても話せないのと同じで、私も今もそうですけれども、スペイン語はもちろん忘れてしまっている。英語も、結局毎年海外に行って話しているのですが、帰って来て全然話さないと忘れてしまうのですよね。だから、私は今でもそういう意味で、英語が出来なくても、どこにでも行けるという自信はあります。
あと、せっかくなので、日本の農業の話をしますけれど、私も知らなかったのですが、日本の農業というのは、世界で生産量は何番目くらいだと思いますか。これは、目時さんにご回答をお願いしたい。金額ベース、カロリーベース、全部含めてです。本を書いた人によると、日本は5番目だそうです。だから、びっくりしますよね。1番多いのは、当然中国なのですが、2番目はアメリカ、3番目はインド、4番目はブラジル、そして日本が5番目です。フランスが6番目、オーストラリアが多いと思っていましたが、7～8番目です。日本は、農業大国とはあまり言った事がないのですが、私も知らなかったけれども農業大国なのです。何の生産量がかというと、家畜から米から全部含めて、農作物、農畜産物です。何で日本はそんなに農業大国なのかと思ったのですが、本を書いた人の受け売りなのですが、日本は北から南まで何か作れるのですね。ハウス栽培もありますので。そういう意味で、日本はある意味ものすごいです。例えば、ロシアは、土地は広いけれども、17～18番目ですね。意外と日本はまんべんなく作っているので、数量的にも多いのです。それと、例えばアメリカなんかはものすごく作っていますが、自国消費より、余ったという言い方は悪いけれど、輸出が非常に多いです。日本の農産物は全部国内消費で、これだけの量を作ったら、食べているということです。そういう意味では、後でお話しますけれども、ＴＰＰの問題ともからんできます。それと、生産量は人口と関係している所があるようですね。日本は世界で10番目くらいの人口ですから、農業生産量が多い、だいたい中国とか人口の多い所が多いのと同じで、極端に言うと、北朝鮮なんかはものすごく少ないです。あと、日本の農業人口というのは、50年前で1,200万軒、昨年の統計では200万軒、実際200万軒のうち14万軒の人が60％を作っています。それと、日本は兼業農家です。100万円以下の農家と、米は作っているけれども、サラリーマンをやりながら作っているとか、そういう所が結構あるので、軒数はあるけれども実際には専業農家は本当に少ないと言われています。あと、世界に量的に通用するのは、世界で1番作られているネギ、日本はネギが1番なのです。そして当然、牛蒡とか里芋は他の国では食べませんので、これも世界一です。そして、びっくりするのが3位、世界で3番目の生産量は、ほうれん草です。4位が柿で、卵も世界で4番目です。確かに、卵は日本だけなのですね、生鮮で食べられるのは。外国では、生卵を食べるというとものすごく何か言われますね。そんな下品な食べ物を食べちゃいけないとか。外国では卵はサルモネラ菌があって食べられないです。でも日本人は、私も好きですが、生卵を平気で食べますよね。これが世界に誇る日本の卵、ほうれん草です。そして、5位がキャベツで、6位がいちご、あと日本の米は、今は人口と同じで10位です。けれども、減反が始まる前は世界で3位でした。
今、日本も確かに農業人口が減っているのですが、50年前と今と農業人口が5分の1、6分の1なのですが、生産量は50年前と変わりません。要するに、農業技術が良くなったということですね。それと、びっくりするのは、トラクターは世界で2位の保有で、コンバインは世界一なのですね。要するに、コンバインは小さい農家でもみんな1軒1軒持っていますから、だから世界一だそうです。農業の耕運機とかそういうもののメーカーが、日本は世界に先駆けてずっとやってきたということで、日本の農業技術はやはり誇れるものがあります。それと、農政の問題で、ちょっと難しい話になるのですが、皆さんよく聞いていると思いますけれども、日本の自給率というのは、ずっとここ何年も39％、40％で、39％というのは自給率が下がったとか色々と言っていますよね。これはもう私が一人で言っても仕方がないと思うのだけれど、非常に矛盾しているのです。減反している片方で、自給率を上げなければいけないと言っています。
自給率の計算ですが、私もびっくりしたのですが、例えば今言った卵、卵はほとんど輸入がありません。卵は輸入がないのだけれど、卵の自給率は9％と計算されています。というのは、91％輸入のトウモロコシを使って食べさせたのは国産ではないという話なのですね。同じひどい話では、牛、果物の本当の国産というのは、日本の飼料で食べて育ったものでないと国産とは言えない。だから家畜なんかも70％ぐらいだけれども、実際計算されている自給率計算では17％です。野菜はもう100％生産していますが、カロリーベースですと2％になり、それで計算すると39％、40％になります。なぜこの数字なのかなと思っていたら、その本を書いた人の話では、要するに自給率70％とか言えば、例えば、ウルグアイ・ラウンドとかの時に、70％ならどんどん入れてもいいのではないかという意見があったようなのです。けれど、農水省としては、これはもう絶対に阻止したいので、国として輸入を阻止しなければならない。やはり心配する数値は4割くらいなのですね、それで40％という数字合わせをしたと。だからこれは農水省の発明です。これはやはり頭の良い人が入って考えたのだろうけれど、自給率がずっと39～40％で20数年間変わっていないのは、おかしいと思いませんか。おかしいですよね、だからそんな自給率の計算というのは非常におかしいし、この自給率を発表しているのも日本だけなのです。外国はそういうことは関係ないということなのでしょうね。それで、日本の自給率が一番低いとか下がったとか言うのは、財務省に対して予算をもらうために自給率を下げるのだから予算を増

やして下さい、そう言われてこうして自給率をずっと計算してきて、他の国のも日本が計算してあげて、日本はここがこうだからアメリカが150％だから日本は40％ですよ、という筋を作っているのです。農水省に僕も知っている人がいて「本当なの。」聞いてみたのですが、「あまり言ってはいけないけれど、本当の話だよ。」と言っていました。農水の方は、そういうちょっと私の分からないところで怖い話がたくさんありますね。
また、放射能の話をしますけれども、これを見たことはありますか、放射線計測器です。これは会社にあったもので古いのですが、20年くらい前に一応検査するために持っていました。これは数字が出るのですが、1時間あたり何ミリというのが0.1から出ます。新しいものを買おうと思ったのですが、まだなかなか間に合いません。
放射能と放射線、この違いというのは皆さんご存知だと思いますが、私は知らなかったのですが、例えば蛍でいうと、放射能は蛍で、蛍が出す光が放射線なのです。だから放射能と放射線は違うのですね。それすら私はあまり知らなかったのですけれど。神崎さんがいるところで言うのはあれだけれど、マスコミが騒ぎすぎなのですよね、今、人体に影響があるのは100ミリシーベルト以上だと福島やチェルノブイリで分かっているのだけれど、100ミリ以下の放射能、放射線のデータがないそうなのです。ただ、日本は、福島で20ミリシーベルト以上のところは避難させましたよね。それは、あまり根拠がないみたいなのですよね。それで、放射線もだからセシウムは30年間残るけれど、ヨウ素は1週間で半分ですね、2週間で4分の1な訳で、ヨウ素と放射線とセシウムでも違うのですね。1番最初に問題となったのは、福島のほうれん草と牛乳がダメです、危ないです、線の規定値を超えていますということでした。でもあの時ね、私は聞いていないのだけれど、枝野さんが「この牛乳とほうれん草を1年間食べてもＣＴスキャン1回分ですよ。」と言ったそうなのです。それは1回だけ言っただけで、あとはマスコミが危険なことだけを発表しています。この間も世田谷で出たレベル、あそこにずっと1年間いれば被害に合うかもしれませんが、ちょっとセシウムの値が高いといっても、そんなに心配しなくても良いそうです。これは日本がんセンターでも、放射能はそんなに心配しなくても良いと言っています。逆に煙草を吸って酒を飲むとこれは2,000ミリシーベルト。100ミリシーベルトが危ないと言っているのに、煙草を吸って酒を飲むと2,000ミリシーベルト。煙草を吸わないで酒だけ飲んでも500ミリシーベルト。もっと怖いのは、痩せすぎ、肥満、運動不足です。目時さんはよくそうだと思いますけれども、これは500ミリシーベルト。野菜不足と受動喫煙で200ミリシーベルト。ということは、本当に神崎さんには悪いが、マスコミがある意味で危険、危険と言っているようなところがあります。過去に確かにＢＳＥの問題もあるけれども、ＢＳＥとか食品添加物のチクロとかい今まで色々問題があったけれど、それで死んだということは聞いたことがないですよね。ただ危険だとその時は言いましたけれども、今回も福島の原発で放射能汚染はあったけれども、それによって病気になったとか、がんになったとか、そういう人もいません。チェルノブイリの場合は、爆発みたいなものですから、あの時は35名亡くなっていますが、日本はそういう意味では今の原発はそんなに怖がらなくてもいいと、これは長崎大学の山下教授が言ったそうです。少量の放射線は体に良いということで、例えばラジウム温泉とかラドン温泉なんかは健康に良いそうです。また、銀座はホットスポットと言って、ものすごく放射線が高いそうです。あの下が花崗岩ですから、花崗岩から放射線が出ています。でもそれが嫌だからと言って、銀座に行かないという人もあまりいないと思います。
最後に、ＴＰＰの話をしたいと思います。これは会社で取っている農業新聞なのですが、ここの所ずっとＴＰＰの問題が毎日出ているのですが、ＴＰＰは基本的に来月のＡＰＥＣの会議で野田さんが決断されるのだと思いますが、私もこれは3月の大震災の前までは、日本はＴＰＰを絶対やらなければいけないと思っていました。確かに日本は農業を保護しすぎて遅れてしまったのですね。そういう意味では、ＴＰＰをもっと早くやれば良かったのですが、ただ今やってしまうと、ＴＰＰはある意味で完全に今まで調整してきたものを完全に全部撤廃するということですから、ゴルフでいうとハンディキャップがなくなってしまう、やったことのない人とやった人とがヨーイドンでやったら絶対に負けてしまうわけですので、今やってはいけないというか、準備期間がないとやってはいけないと個人的には思います。それと、今はＴＰＰよりも東北の復興の方が大事だと私は思います。復興今、福島は東北の米を作ったのに外国は買ってくれるかと言ったら、絶対に買ってくれないです。1年前だったら、日本の米はおいしいとか、高くても売れるのだとか言われて、韓国と中国では売れたのです。でも、3.11以降はもう東北のものだけでなく、とにかく日本の野菜果物が、日本のものは買わないというそういう変な風評被害みたいになってしまっていますから、これは私が言っても仕方がないのですが、ＴＰＰはやらない方が良いと思います。やるのであれば、準備して、1年か2年整備をして、要するに農業だったら今、賛成派はさかんに言っていますけれども、今の一人あたりの耕作面積を少ない人にはやめてもらって、補助でどんどん1億30兆分くらいずつやれば良い。良いと言っても、それはやるために時間はまだかかるから、私は今はやらないで、もう少し整備をきちんとしてからなら良いですが、今やったら日本はボロボロになるような気がしますね。確かに、日本の米はおいしいから、外国の安い米なら買うかと言われれば、安いからといって買わないと思いますけれど、ただ日本から売るものがないのですね。確かに、ＴＰＰをやると、関税のかかっている麦とか、砂糖とかが今の3分の1くらいで買えるのです。それは確かに良いのだけれど、日本で作ったものは、車とかそういうものは売れますので、工業製品はＴＰＰをやった方がいいですね。ただ、農産物とか医療の関係をやったら大変なことになってしまう。だから、個人的なのですが、ＴＰＰは反対します。これは反対するのではなくて、参加するだけでもいけないような気がします。例えが悪いですが、参加する、例えばお見合いする、お見合いしてからダメだったらやめればいいということと同じです。とりあえず参加してダメだったらやめれば良い、それはおかしいことだと思いますし、民主党が、あの時も1回民主党に変わらせてだめだったらやめれば良い、それで皆さん民主党になったと思うのですが、それと同じような気がして、私はやってはいけない、参加してはいけないと思います。いや、見合いをして断る方が大変だと思うのですけれど、多分見合いに参加しない方がいいと思います。以上です。ありがとうございました。

■点鐘：小町会長